

本年度の行田市在宅医療・介護連携推進事業の具体的活動について

1. 行田市在宅医療・介護連携推進協議会(必要時に開催)
第6回 令和3年4月30日(金)

次回は必要に応じて開催

2. 作業部会と各種事業の実施

部会名	役割	協議及び実施内容
入退院調整部会	入院時、退院時における多職種連携ツールを検討	「市民と医療・介護連携のための行田市入退院調整手引き」
患者情報共有・ICT部会	多職種、関係機関の具体的連携方法、ツールの検討	MCS(メディカルケアステーション) ～笑顔でゆくために～「わたしの人生ファイル」(行田市在宅医療介護連携)
ふらっと(研修)部会	地域包括ケアや医療・介護関係等多職種連携のための研修企画	研修企画、実施 自主制作動画「介護保険を知ろう～わたしの人生ファイル～」
普及啓発部会	地域包括ケアや多職種連携について市民、関係機関への周知	在宅医療・介護連携推進事業広報誌「行田人」企画
病院・有床部会	病院、診療所内外の多職種連携の普及	「市民と医療・介護連携のための行田市入退院調整手引き」活用における病院・診療所の意見集約

3. 機能強化型地域包括支援センターの設置・運営

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者に、在宅医療と介護サービスを一体的に提供するために、市と協働で医療機関と介護サービス事業者などの関係者の連携を推進する。

4. 行田市在宅医療・介護連携推進センターの運営

在宅医療と介護の関係機関が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療と介護を提供する体制を支援する。

- MCS(メディカルケアステーション)による医療・介護関係者の情報共有の支援
- 医療・介護関係者の研修
- 地域住民への普及啓発
- 医師、保健師、看護師、精神保健福祉士、社会福祉士、介護福祉士又は医療、保健若しくは福祉に関する国家資格を有する者によるアウトリーチ(訪問による相談支援)
- 人生の最終段階における意思決定支援
- 地域共生社会に向けた調査及び研究

5. 在宅医療・介護連携推進に係る多職種合同意見交換会

新型コロナウイルスの感染状況、ワクチン接種の進捗等を勘案し、開催及び実施方法について検討する。